

HEART NEWS

2017年5月1日発行

Vol. 25

大阪市立総合医療センター循環器センター

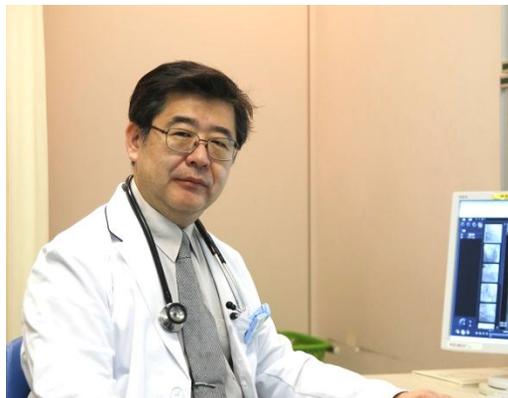


新しい年度に入り最初のハートニュースの発行です。

循環器内科は、本年の4月から紙森公雄先生の大阪市立大学への異動に伴い、仲川将志先生が大阪市立大学からスタッフとして来られ張り切っておられます。

また心臓血管外科では、阪口正則先生が大阪市立大学から副部長として新たに加わりました。

循環器内科、心臓血管外科とも若手のレジデントも加わり、これまで以上に活気のある循環器センターとなりますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。



大阪市立総合医療センター 循環器センター長
循環器内科部長

成子 隆彦

循環器内科のご紹介

循環器内科は、循環器センター直通電話（ハートライン）、循環器センター広報誌（ハートニュース）、ハートカンファレンスなどの地域連携研究会を通じ地域医療機関との連携に努めております。さらに今年度は以下の分野を重点的に取り組みたいと思います。

1. 大動脈弁狭窄症のカテーテル治療：高齢化に伴い急激に増加している大動脈弁狭窄に対し、経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI/TAVR; Transcatheter Aortic Valve Implantation) を2016年4月から開始し、2017年4月末までに38例を大きな合併症なく施行しています。本年度も、ハイリスクが故に手術を断念していた患者さんへの、TAVI治療をますます充実させたいと思っています。
2. 不整脈治療の充実：クライオアブレーション導入後、当院では発作性心房細動症例はクライオアブレーションを第一選択としており、結果として2016年は初回治療例の約8割がクライオアブレーションとなりました。また、AEDの普及により、心肺停止搬送症例の蘇生成功症例が増加し、それに伴い、植込み型除細動器の適応症例が増加しています。
3. 末梢動脈疾患の包括的治療：末梢動脈疾患、特に重症下肢虚血は糖尿病や透析患者に多く、今後、疾患の増加が予想されます。当院の総合病院としての機能を生かし糖尿病内科、腎臓高血圧内科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して治療に努めてまいります。
4. 心不全パスの充実：超高齢化に伴い、近年が増加している心不全患者の治療について、心不全パスを通じて、院内の看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士を始め、地域医療機関、在宅医療に関わる看護師、ケアマネージャーを含めたチームで取り組み、再入院の防止に努めたいと思います。



副部長
阿部 幸雄



医長
松村 嘉起



医長
松本 亮



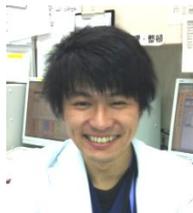
医長
占野 賢司



医長
仲川 将志



レジデント
松尾 真典



レジデント
松下 司



レジデント
加川 俊介



レジデント
中達 賢一



レジデント
野村菜々香

循環器内科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	阿部	松村	占野	仲川	成子
午後	阿部	松村	松尾	仲川	成子
	占野・松尾 (ペースメーカー)				

地域初診外来

	月	火	水	木	金
午前	成子		阿部	成子	松本(TAVI)
午後			占野(不整脈)		

心臓血管外科のご紹介

心臓血管外科は循環器センター直通電話（ハートライン）を通じて、24時間対応可能な診療体制をとっております。

また、当院の救命救急部とも密に連携しており、緊急手術を要する重症患者さんは救命救急部に連絡していただければ24時間受け入れ可能です。

さらに今年度は以下の項目にも取り組んでいきたいと思えます。



部長 佐々木康之

- 1) 急性大動脈症候群に対する外科治療の充実：急性A型解離に対しては開胸による人工心肺・心停止下の人工血管置換術を行う必要がありますが、胸部・腹部大動脈瘤破裂に対しては、より高い救命率が得られる可能性がある緊急ステントグラフト内挿術を積極的に施行しております。
- 2) 弁膜症治療の充実：大動脈弁狭窄症(AS)に対して、昨年4月よりTAVI（カテーテル的大動脈弁挿入術）を行っております。また、以前より取り組んでおりますが、僧帽弁逆流に対する僧帽弁形成術も充実させてまいります。
- 3) 冠動脈疾患の外科治療の充実：重症3枝病変（左冠動脈主幹部病変を含む）に対して、完全血行再建（3-4箇所以上のバイパス術）を積極的に施行しております。また、重症の心拡大例（低左心機能症例）に対しては左室縮小術（Dor手術、SAVE手術）も取り組んでおります。



副部長
阪口 正則



医長
尾藤 康行



医長
末廣 泰男



レジデント
西矢 健太



レジデント
因野 剛紀



レジデント
新田目淳孝

心臓血管外科外来担当医のご案内

	月	火	水	木	金
午前	末廣	佐々木	阪口	佐々木	尾藤
午後	末廣	佐々木	阪口	佐々木	尾藤

診察予約（地域医療連携室）

TEL:06-6929-3643 FAX:06-6929-0886

平日 8:45～20:00

今号の循環器日記

我々循環器センターでは、臨床・教育・研究の3つのうち、いずれもが欠けることのないように力を入れております。国内学会をはじめ国際学会でも発表を行ったり、また、教育プログラムの運営を行ったりしています。

写真①は、3月にモナコで開催されたHeart Valve Societyにおいて、阿部医師が発表した際に撮影した記念写真です。写真②は、同月に循環器センターが主催した都島ハートカンファレンスにおいて、末廣医師が発表した際の写真です（末廣先生、小さくてすみません）。本カンファレンスには非常に多くの先生方にご出席いただきました。心から感謝しております。写真③は、同月に金沢で開催された日本循環器学会学術集會に参加した際の成子医師と加川医師の記念写真です。写真④は4月に名古屋で開催された日本心エコー学会に参加した際の阿部医師と赤松医師の写真です。

学会で学んだことを現場に持ち帰って臨床に活かして患者さんや先生方、地域医療のお役に立てるように、そして、さらに有用な臨床研究の成果を院外に発信できるように日々努力しております。どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。

写真①



写真②



写真③



写真④



当院、循環器内科、心臓血管外科は近隣の先生方からの循環器救急疾患をさらに迅速に受けられることができるように循環器センター直通電話（ハートライン）を設置しております。

ハートライン（循環器センター直通電話）

06-7662-7979

その他の場合は、御面倒ですが、

06-6929-1221（病院代表）から呼び出して下さい。